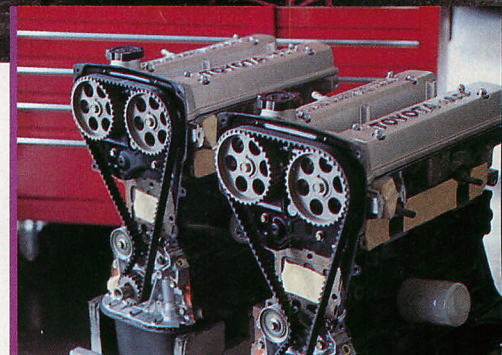




S P O T 増しから作業を開始する
というトテツもないT U N E 計画 //

●ボディから新車状態に作り上げていく
A E 85改新車A E 96

SPORTS バージョン計画 発動!



最近 A E 86 人気がものすごい。頭文字 D のおかげかもしれないが、何たってチューン入門者から上級者までそれなりに楽しめる F R S ポーツマシンとして、A E 86 の存在は、なかなか大きいものがある。何よりも、チューンパーツが豊富で、バリエーションも多い。自分の要求に応じて、様々な仕様を作ることが可能だ。

で、今回の S P L 計画の話なのだが、4 A - G をベースに、次々と色々な仕様を送り出し続けている栃木のレーシングサービスマシン Y A S U が、A E 86 の新車を作る……そう聞いて出掛けてみた。

A E 86 の新車?? と不思議に思いながら、山崎さんの話を聞いていると、これがメチャメチャ面白い。

というのも、A E 86 というクルマ、中古車市場に出回っているのは、走りに入り込んで、クタクタになった物がほとんど。しかも、価格は高い。いいクルマがなくて値段が高いとなると、ウーン、幾ら A E 86 が良かったって買えない。

で、A E 86 が買えないなら、作ってしまえ! というのが今回の計画。詳しく話そう。程度のいい A E 85 ボディ(女の子オーナーの A T モデルがグッドです)を購入して、一度

全部裸にしましょう。そして、最新のフレーム修正機械にかけて、わずかな狂いも取ってしまう。

その後、ストリート用のスポーツマシンとして使用するために、どうしても必要なボディ強度をアップするためのスポット増しをして、ボディ全体をジャブ漬け塗装。

このときに、エンジンルーム内も、シッカリと塗装してやる。ノーマルは1回吹きだけど、外装と同程度に吹く。せつかくエンジンをチューンして、バッチリのパワーを発揮させるというのに、エンジンルームがしよばいと、何となく気分が良くないもんね。ここはこだわりたい。

また、腐りやサビの出やすいフレーム部分には、ヨーロッパ車でよくやっているように、防錆剤を入れて、耐久性をアップさせる。そして、そのボディをベースにして、スポーツパーツ、エンジン、サスペンション、ブレーキと、チューニングバージョンを作り上げていくわけだ。

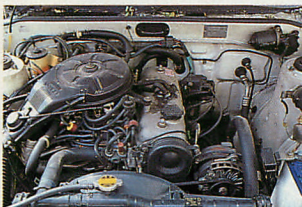
エンジンに関しては、Y A S U のオリジナルである 4.5 A - G、5.5 A - G、7 A - G、8 A - G、そしてハイコンパ仕様などの豊富なバリエーションの中からチョイスすることができる。もちろん、コンピュータでバッチリとコントロールされたイン

AE85改AE96

DATA

- 車両重量 ● 目標 600kg 台
- エンジン型式 ● 4A-G 改色タ
- 総排気量 ● 1600~1850cc
- カムシャフト ● 256~320度
- 燃料 ● ROM チューン
- 変速機 ● クロスM/T
- デフ ● LSD 入り
- ショック ● 調整式
- 車室内 ● アンダーコートなし
- ボディ ● ジャブ漬け塗装& スポット増し
- サイドウインド ● アクリル
- ボンネット&ドア ● FRP
- 内装 ● SPORTS 仕様
- シート ● バケット
- 価格 ● 200万円以内

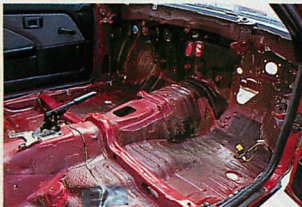
photo — 金上 学



●SE & SRに搭載されている3Aエンジン。こうやって見ると、何ともショボイ。昔はけっこうA E 86と間違えてA E 85を買ったという話があったのだ。ボンネットを開けたら……ガビン!!



●SEの室内。こうやって見ると、本当にA E 86とは雰囲気が違う。エンジンと内装が違うだけだが、スポーティとは程遠い感触を受けてしまう。この部分は内装をやり直し、バケットシートなどをセットする予定だ。



●内部もすっかりとはがされてしまったA E 85ボディ。全部取ってしてしまうことによって、色んな不具合が発見できることもある。だけど、この作業は……けっこう大変なんだよね。ホワイトボディを買った方が……??



●カローラレビン&スプリンタートレノと銘打たれているが、3Aエンジンを積んだモデルがあった。その中でもグレードは二つあって、SEとSR。この二つの違いは、SEがカッコだけ、SRがA E 86もどき??

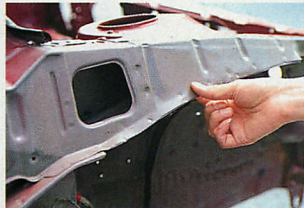


●SEとSRの大きな違いはスタビの取り付けブラケットの有無。SRにはあって、SEにはない。なければ付けよう……と思っても、ボディ側にネジが切っていないから、ちょっと面倒くさいことになるね。

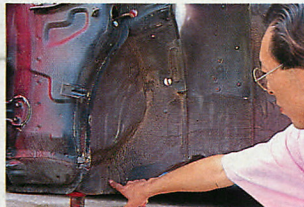
取材協力
レーシングサービスYASU
☎0286-76-0195



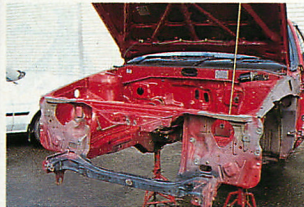
●A E 85という車両型式が入っていますでしょ。こいつは、基本的にA E 86と同等のクルマで、色々と種類はあるものの、エンジンが4A-Gではないタイプが載っている。こいつがちよいとねらい目なのです。



●この辺りの接合部は、ピンとスポット増しをして、ボディ剛性のアップを図る。レーシングカーでも、この辺りのスポット増しがけっこう効果的なので、ストリートでもキチンとやっておきたいと思う。



●ここら辺は腐りが出やすい部分。メインチューブとなる所には、ヨーロッパ車と同じように、防錆剤を流し込んで耐久性を高めてやりたい。キチンと塗装しても、ここがダメだと……もちは悪くなる。



●R Sヤスで裸ん坊にされたA E 85ボディ。すべてのパーツを外して、フレームをキチンと修正し、スポット増しして要所にアンダーコート、そして塗装と、複雑な工程を経て、1台のストリートスポーツとして製作する。



●この部分が要注意ポイントとなる。A E 86にはスタビを装着するためのブラケットがセットされているが、SEにはないのだ。ただしSRクラスにはスタビ設定があるので、こいつを使えば安心だ。

何とまあ、とんでもないチューン計画が発動した中古車市場で品薄&人気のA E 86だが、タマが悪い物がほとんど。なら作っちゃえ!!というのでA E 85をベースにした96年式の新車A E 96を作る!?

ジェクション仕様。サスペンションについては、ストリート用の調整式で、軽量ボディとハイパワーエンジンとのマッチングを考えたチューニングバージョン。ブレーキもチューニングバージョン。大径ローターなどを入れることも考えられる。シートはバケットで、コンピュータチューンに、クロスミツシヨン&LSD入りのデフまで、ストリートを攻める本物のスポーツカーとして、生まれ変わる。

で、1996年式のA E 86だから、その名前がA E 96……ま、シャレですけれど、本気で作るマシンだから、けっこういいネーミングかも??

このシステムってのは、ありそうでいて実はないシステムだと思う。これまでのコンプリートカーってのは、元々のクルマには手を入らずに、

エンジンや外装、サスペンションなどのパーツを組み込んだものだった。だけど、これは違う。

言ってみれば、メーカーオプションで、エンジン、サスペンション、ブレーキ、内装などをオーダーできるようなものなのだ。

ホワイトボディがあって、それをスポーツ走行用にモディファイして、そこに希望のパーツを取り付けていく……スゴイよ、これは。

おまけに、このA E 96の価格は200万円以内を抑えたいというからビックラこいてしまう。ベースになるクルマを買って、エンジンをチューンして、サスペンション、ブレーキ……とやっていけば、とてもじゃないが、こんな価格じゃ無理。

しかも、ベースになるボディは剛性アップ加工に、シツカリとしたペイントが施され、目的を絞った仕上

りがなされてる。山崎さんの頭の中には、このA E 96の細かい部分の青写真ができてあがっている。最終的には、600kg台の車重にしたいというから、ここにハイパワーエンジンを搭載すれば、ものすごいポテンシャルを持つマシンになってくれるはず。

外装に関しても、軽量化を実現するために、アクリルウインドやFRPパーツを使って、一見ノーマル、実はフルチューンボディというのを作る予定だ。

しかし、考えていた方がいい。超軽量&高剛性ボディにパワフルなエンジンを搭載し、足まわりからミツシヨン&デフに至るまでフルチューンのクルマ……その走りのポテンシャルは、これまでのA E 86よりもググツと上になることは確実。

言ってみれば、スーパーセブンみたいに、ボディがあって、それにチ

ューニング用のパーツをセレクトしてセットアップしていくようなもの。これまでこういう計画やクルマがなかったのが不思議な感じもするが、その製作の手間を考えると、みんな一度は考えても、実行に移さなかったというのもよく分かる。

しかし、それをガッツで実行するYASUのやる気に拍手……であります。製造過程を何度かレポートするから、注目してほしいね。これは面白いよ!!

(藤本慎一)

PLANNER PROFILE
山崎康之
異色TUNE計画
続々発信人



●おなじみ、プライベートの味方RSヤスの山崎さんだが、今回はまたとんでもないことを考え出してくれた。本当は新車登録して、3年車検付けたかったんだけど、費用がかかりすぎるので、名目も実質を優先した……というわけだ。